



しげくら

校長 佐々木伸一
R7.4.21 No. 2

【学校教育目標】

「心豊かに健康で

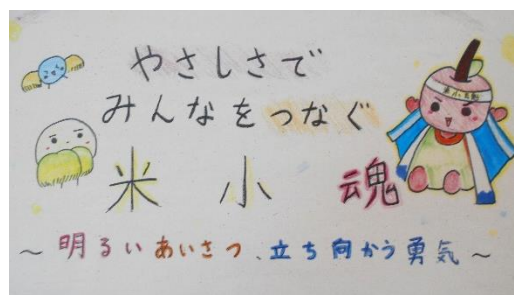
たくましく生きる

子どもの育成」

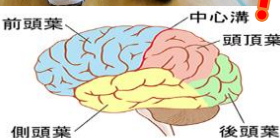
米崎小のお宝を誇りに！

あいさつと思いやり、返事、話を聞く姿勢、スポーツ 重倉太鼓、緑の少年団、りんご博士をさらに磨く！

2週間の学校生活が過ぎ、それぞれの学年が一生懸命に生活しています。米崎小学校、本当に素晴らしい学校だと思いました。1年生が入学し、学年が上がり、それぞれの学年が成長しています。給食が始まり、1年生も小学校生活に慣れてきました。米崎小学校には、伝統と文化そしてお宝がたくさんあります。米崎小学校には、あいさつと思いやり、返事、話を聞く姿勢、朝読書、そうじ、スポーツ(野球、バレー、テニス、サッカー、卓球等)、重倉太鼓、緑の少年団、りんご博士、漁業学習などのお宝がたくさんあると校長先生は思います。それを誇りと自信にするために、さらに学校生活と地域活動で磨いていきたいと思っています。



音読、家庭学習のすすめ！



脳から入力された情報は、「海馬」(記憶の仮保存場所、2～4週間)というところに仮保存されます。その期間は、2～4週間です。海馬の仮保存中に、その情報が何度も使われ、「話す」「書く」などを3回くらい復習し繰り返すアウトプット活動をする、脳はその情報を「重要な情報」と判断し、その情報を「側頭葉」(記憶の金庫、長期記憶)の長期記憶に移動させていきます。「話し合う活動」「発表する活動」「作業や体を動かす活動」の他、「自分の力で、音読、計算練習、漢字練習、ノート整理、短い作文、絵、歌唱、演奏」などがアウトプット活動の学習となります。すなわち、授業だけでなく、家庭学習を繰り返すことによって学習内容が定着していきます。学力がアップします。本校の家庭学習の目標時間は、低学年20分、中学年40分、高学年60分です。「がんばる米崎小！」家庭学習も力を入れ、習慣化していきましょう。

放課後学習始めます！教員免許ある方募集中！

前回の校報で、「保護者・地域の方々にはすべての子どものサポーターになっていただき、いつでも来校していただき、子どもの様子をご覧いただければと思います。」とお知らせしました。さらに、放課後には教員免許のある方々に講師になっていただき週1回以上の放課後学習会を開催したいと考えています。保護者・地域の方々で、教員免許を持っている方、講師になっていただける方を募集いたします。米崎町外でもご協力いただける方を歓迎いたします。放課後学習会は15時30分頃から1時間ぐらいと考えます。ご協力お願いいたします。



大切な「命」を守る授業！～避難訓練と交通安全教室～

4月10日（木）に、第1回目の避難訓練を行いました。2階から火災が起きた想定で行い、避難経路の確認と安全な避難の仕方を学びました。「お・は・し・も（押さない・走らない・しゃべらない・もどらない）」の約束を守りながら短時間で避難することができました。第2回目は5月1日（木）に、地震が発生しその後津波警報が発令されたという想定で行う予定です。ご家庭でも、いざというときに自分の命を守れるよう、自宅周辺の避難場所や経路、危険箇所等について確認をお願いします。

4月16日（水）には、交通安全教室を開催し、安全な歩行の仕方や自転車の乗り方について学習しました。教えてくださったのは、高田幹部交番の高橋様と市交通指導隊の佐々木正男様、菅崎京子様、佐藤美幸様、細谷喜一様の5名です。1、2年生は実際に学校周辺の公道に出て、警察官や交通指導隊の皆さんの指示をよく聞き、左右、後方等の確認をしながら道路の横断方法をしっかり学ぶことができました。また、3～6年生は自転車の安全な乗り方について学びました。スタート時の後方確認の大切さ、交通ルールや手信号、運転技能向上などについて、丁寧に教えていただきながら、校庭に設置したコースを使って実技を行うことができました。安全な歩行や運転が身に付くまでには時間がかかります。ぜひご家庭でも道路の歩き方や自転車の乗り方の確認と自転車点検を定期的にしていただき、注意喚起をお願いいたします。また、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化されています。ヘルメットのあごひもが緩い児童が多かったので、安全のため再度ご確認ください。今年度も「事故0」で過ごせるようご協力をお願いします。



54名の見守り隊の皆様！

いつもありがとうございます！

いじめの定義変わりました！

現在のいじめ判断の根拠になっているのは、平成25年に、国の法律で制定された「いじめ防止対策推進法」で、定められた以下の定義となります。

「いじめとは、児童等に対して、一定の人間関係にある他の児童によって行われる心理的または物理的な影響を与える行為（インターネット等を通じて行われるものを含む）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。」



定義には回数の規定はなく、苦痛を感じたら「いじめ」となります。日常の言葉の使い方には注意が必要です。ネットの書き込みもいじめの対象です。さらに文部科学省では、「いじめが解消している状態」については、「いじめ行為が止んでいる状態が3か月継続」「被害者が心身の苦痛を受けていない」という2つの条件も出しています。PTA総会でお示しいたしますが、本校にも『陸前高田市立米崎小学校いじめ防止基本方針』があります。「いじめ防止の取組」「いじめ対策委員会の設置」「いじめの早期対応」「重大事案への対処」などが明記されています。もしも、誰かが「いじめ」や「暴力」をしたら、すぐ先生に教えてください。『いじめを絶対行わない！』『いじめストップ！』